

## 仕様書

カトウクローラテレスコピッククレーン

CR - 80C (8.0t吊り)

## クレーン主要諸元

1. 呼称	8.0 t吊りクローラテレスコピッククレーン			
2. 型式	CR - 80c			
3. 性能				
最大定格総荷重	4.6 mブーム	8,000 kg x	2.0 m	(4本掛)
	7.6 mブーム	6,000 kg x	2.0 m	(4本掛)
	10.6 mブーム	4,900 kg x	2.5 m	(4本掛)
	13.6 mブーム	3,000 kg x	4.0 m	(4本掛)
ブーム長さ	4.6 m ~ 13.6 m			
特殊ジブ長さ	0.7 m			
最大地上揚程	14.0 m (ブーム)			
	15.6 m (特殊ジブ)			
巻上ロープ速度	67 m/min (4層目)			
フック速度	16.7 m/min (4本掛、4層目)			
ブーム起伏範囲	- 5° ~ 75°			
ブーム上げ速度	- 5° ~ 75° / 17 sec			
ブーム伸長速度	4.6 ~ 13.6 m / 27 sec			
旋回速度	2.1 min <sup>-1</sup>			
旋回後端半径	1.55 m			
キャブ前端旋回半径	1.81 m			

## 4 . クレーン部の装置及び構造

ブーム形式		箱型 4 段油圧伸縮式 ( 2 ・ 3 ・ 4 段同時 )
ジブ形式		ブーム先端着脱式ジブ
ブーム伸縮装置		油圧シリンダ ( 1 本 ) 及びワイヤロープ併用式
ブーム起伏装置		油圧シリンダ直押式
巻上装置		シングルウインチ 1 基、油圧モータ駆動・遊星歯車減速式 自動ブレーキ付、圧力補償付流量調整弁付
旋回装置		油圧モータ駆動・遊星歯車減速式 ( ネガティブブレーキ内蔵 ) フリー・ロック切換式
旋回サークル		ボールベアリング式
アウトリガ装置	形式	油圧式
	張出幅	3 , 4 0 0 mm
走行減速機		平歯車・ペリサイクロイド歯形差動歯車 2 段減速式
駐車ブレーキ		加圧開放型ディスクブレーキ
クローラシュー		トリプルグローサシュー ( ボルト締ゴムパット付 )
かじ取装置		左右独立駆動方式
巻上げ用ワイヤロープ		1 2 mm × 9 0 m

## 5 . 油 圧 装 置

油圧ポンプ		可変容量ピストンポンプ × 2 + 2 連ギヤポンプ
油圧モータ	巻上用	固定容量ピストン型
	旋回用	固定容量ピストン型
	走行用	可変容量ピストン型 × 2
コントロールバルブ		マルチプル自動復元式 ( 圧力補償付流量調整弁付 )
シリンダ		ダブルアクティング式
オイルリザーバ容量		1 0 5 L

## 6 . 安 全 装 置

A C S ( 過負荷防止装置・音声警報装置付 )、作業範囲制限装置、  
ブーム自然降下防止装置、過巻防止装置、ドラムホールド安全装置、  
自動ブレーキ装置、乱巻防止装置、油圧安全弁、アウトリガロック装置、  
角度指示器

## キャリア部主要諸元

## 1. 走行性能

速度 3.5 / 2.3 km/h

登坂能力 0.6 (tan )

## 2. 寸法・重量

全長 5,900 mm

全幅 2,230 mm

全高 2,600 mm

起動輪と遊動輪の中心間距離 2,120 mm

クローラベルト中心距離 1,780 mm

クローラベルト全長 2,780 mm

クローラベルト全幅 450 mm

機体質量 9,900 kg

## 3. 機関 (国土交通省1次排出ガス対策型)

名称 いすゞ A-4JB1型 ディーゼル機関

形式 4サイクル・水冷・直列・頭上弁・直接噴射式

シリンダ数 - 内径×行程 4 - 93mm×102mm

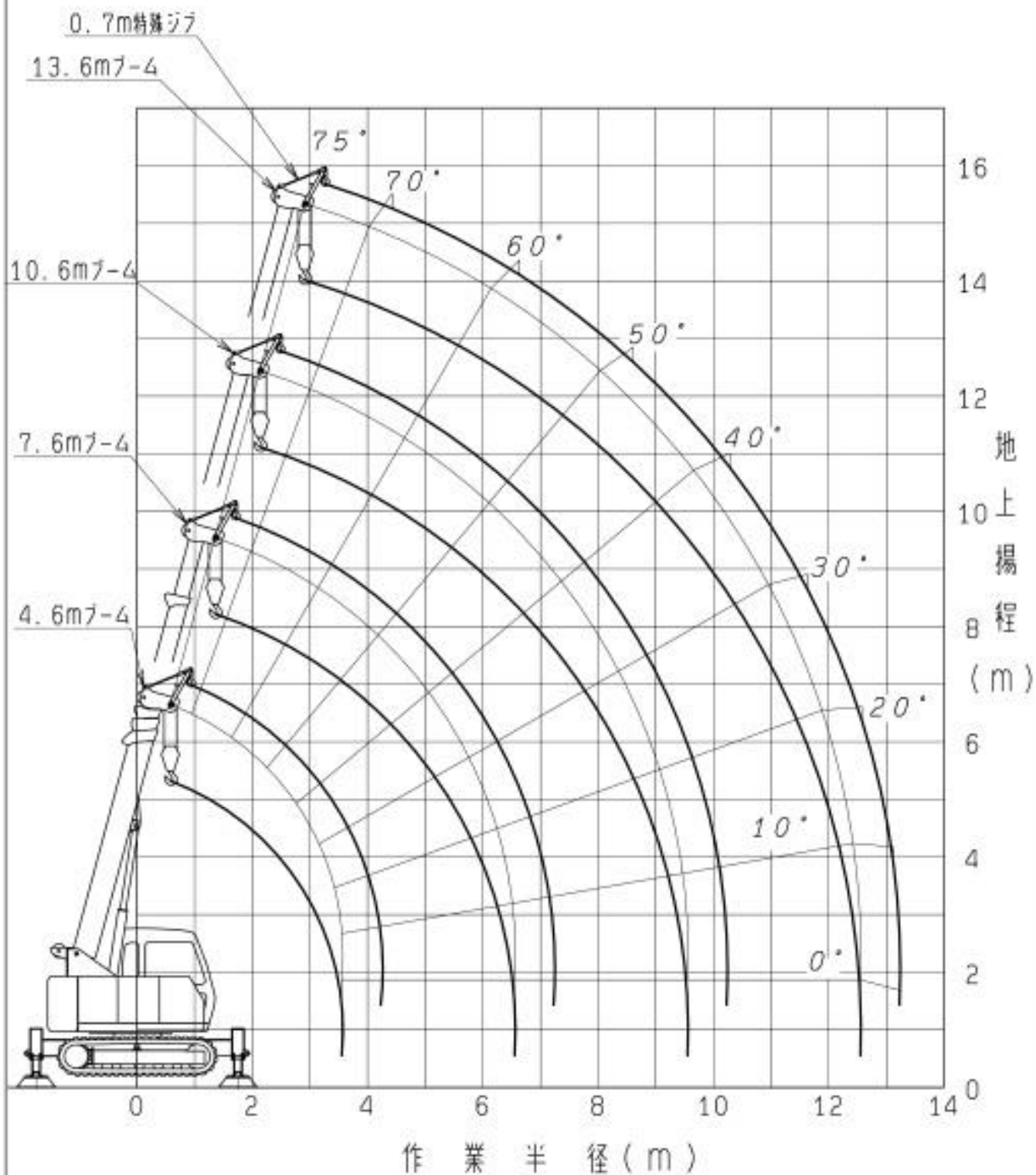
総排気量 2,771 cc

最大出力 41.9 kW / 2,200 min<sup>-1</sup>

最大トルク 188 N・m / 1,800 min<sup>-1</sup>

燃料タンク容量 110 L

# 作業範囲図



- (注意) 1. 本図はブーム、特殊ジブのたわみを含んでいません。  
 2. 本図はアウトリガ使用時(全周)のものです。

## 【 定格総荷重表 1 】

(単位: ton)

アウトリガ使用 (3.4m) 張出 (全周)				
作業半径 (m)	4.6m	7.6m	10.6m	13.6m
	ﾌﾞｰﾑ	ﾌﾞｰﾑ	ﾌﾞｰﾑ	ﾌﾞｰﾑ
2.0	8.00	6.00		
2.5	6.80	5.50	4.90	
3.0	5.80	5.00	4.45	
3.5	5.00	4.60	4.00	
4.0		4.20	3.65	3.00
4.5		3.75	3.40	2.60
5.0		3.10	3.00	2.40
5.5		2.65	2.65	2.10
6.0		2.30	2.30	1.90
6.5		2.00	2.00	1.70
7.0			1.80	1.55
8.0			1.45	1.30
9.0			1.20	1.10
9.5			1.10	1.00
10.0				0.95
11.0				0.80
12.0				0.70
12.5				0.60
危険角度	-	-	-	-

## 【 定格総荷重表 2 】

(単位: ton)

アウトリガ使用(3.4m)張出 (全周)				
作業半径 (m)	4.6m <sup>+</sup> - $\mu$	7.6m <sup>+</sup> - $\mu$	10.6m <sup>+</sup> - $\mu$	13.6m <sup>+</sup> - $\mu$
	+0.7m特殊ジブ	+0.7m特殊ジブ	+0.7m特殊ジブ	+0.7m特殊ジブ
2.0	2.00	2.00		
2.5	2.00	2.00		
3.0	2.00	2.00	2.00	
3.5	2.00	2.00	2.00	
4.0	2.00	2.00	2.00	2.00
4.5		2.00	2.00	2.00
5.0		2.00	2.00	2.00
5.5		2.00	2.00	2.00
6.0		2.00	2.00	1.81
6.3		2.00	2.00	1.69
6.5		1.91	1.91	1.61
7.0		1.71	1.71	1.46
8.0			1.36	1.21
9.0			1.11	1.01
9.5			1.01	0.91
10.0			0.76	0.86
11.0				0.71
12.0				0.61
12.5				0.51
13.0				0.41
危険角度	-	-	-	-

## 【注意事項】

## アウトリガ使用時

1. 定格総荷重表は、水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。

--

 部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定度によって定められています。

フックの種類	8ton
質量	85kg

2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. ブームの長さが規定の長さをこえる場合には規定の長さか、一段上のブーム長さかのいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。
4. 特殊ジブを装着したままでブーム作業を行う場合は定格総荷重より、つり具等の質量の他に50kgを差し引いてください。
5. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は下表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり19.6kN(2,000kgf)を限度としてください。

ブーム長さ	4.6～13.6m
巻掛本数	4

6. アウトリガ使用時には、必ず着脱式大型フロートを装着してください。
7. 定格総荷重表は風による影響を含んでいません。瞬間風速が10m/secをこえる場合は作業を中止してください。
8. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。



## 【 定格総荷重表 3 】

(単位: ton)

作業半径 (m)	アウトリガ不使用定置つり (全周)			
	4.6m ﾌﾞｰﾑ	7.6m ﾌﾞｰﾑ	10.6m ﾌﾞｰﾑ	13.6m ﾌﾞｰﾑ
2.0	3.80			
2.5	2.65	2.70	2.60	
3.0	1.95	2.00	2.05	
3.5	1.55	1.60	1.60	1.60
4.0		1.30	1.30	1.30
4.5		1.05	1.10	1.10
5.0		0.90	0.90	0.90
5.5		0.75	0.75	0.75
6.0		0.65	0.65	0.65
6.5		0.55	0.55	0.55
7.0			0.50	0.50
8.0			0.35	0.35
9.0			0.28	0.28
9.5			0.24	0.24
10.0				0.20
危険角度	-	-	-	37 °

## 【 定格総荷重表 4 】

(単位: ton)

作業半径 (m)	アウトリガ不使用定置つり (全周)			
	4.6m <sup>+</sup> - <sub>4</sub> +0.7m特殊ジブ	7.6m <sup>+</sup> - <sub>4</sub> +0.7m特殊ジブ	10.6m <sup>+</sup> - <sub>4</sub> +0.7m特殊ジブ	13.6m <sup>+</sup> - <sub>4</sub> +0.7m特殊ジブ
2.0	2.00			
2.5	2.00	2.00	2.00	
2.8	2.00	2.00	2.00	
2.9	1.97	2.00	2.00	
3.0	1.86	1.91	1.96	
3.5	1.46	1.51	1.51	1.51
4.0	1.21	1.21	1.21	1.21
4.5		0.96	1.01	1.01
5.0		0.81	0.81	0.81
5.5		0.66	0.66	0.66
6.0		0.56	0.56	0.56
6.5		0.46	0.46	0.46
7.0		0.36	0.41	0.41
8.0			0.26	0.26
9.0			0.19	0.19
9.5			0.15	0.15
10.0			0.11	0.11
危険角度	-	-	-	37 °

## 【 定格総荷重表 5 】

(単位: ton)

アウトリガ不使用走行つり (全周) [1km/h 未満]			
作業半径 (m)	4.6m ﾌﾞｰﾑ	7.6m ﾌﾞｰﾑ	10.6m ﾌﾞｰﾑ
2.5	2.00	1.55	1.25
3.0	1.65	1.30	1.05
3.5	1.45	1.10	0.90
4.0		0.90	0.75
4.5		0.80	0.65
5.0		0.70	0.55
5.5		0.60	0.50
6.0		0.55	0.45
6.5		0.50	0.40
7.0			0.35
8.0			0.25
9.0			0.22
9.5			0.20
危険角度	-	-	-

## 【 定格総荷重表 6 】

(単位: ton)

アウトリガ不使用走行つり (全周) [1km/h 未満]			
作業半径 (m)	4.6m <sup>7</sup> -Δ +0.7m特殊ジブ	7.6m <sup>7</sup> -Δ +0.7m特殊ジブ	10.6m <sup>7</sup> -Δ +0.7m特殊ジブ
2.5	1.91	1.46	1.16
3.0	1.56	1.21	0.96
3.5	1.36	1.01	0.81
4.0	0.81	0.81	0.66
4.5		0.71	0.56
5.0		0.61	0.46
5.5		0.51	0.41
6.0		0.46	0.36
6.5		0.41	0.31
7.0		0.26	0.26
8.0			0.16
9.0			0.13
9.5			0.11
10.0			0.06
危険角度	-	-	-

## 【注意事項】

## アウトリガ不使用時

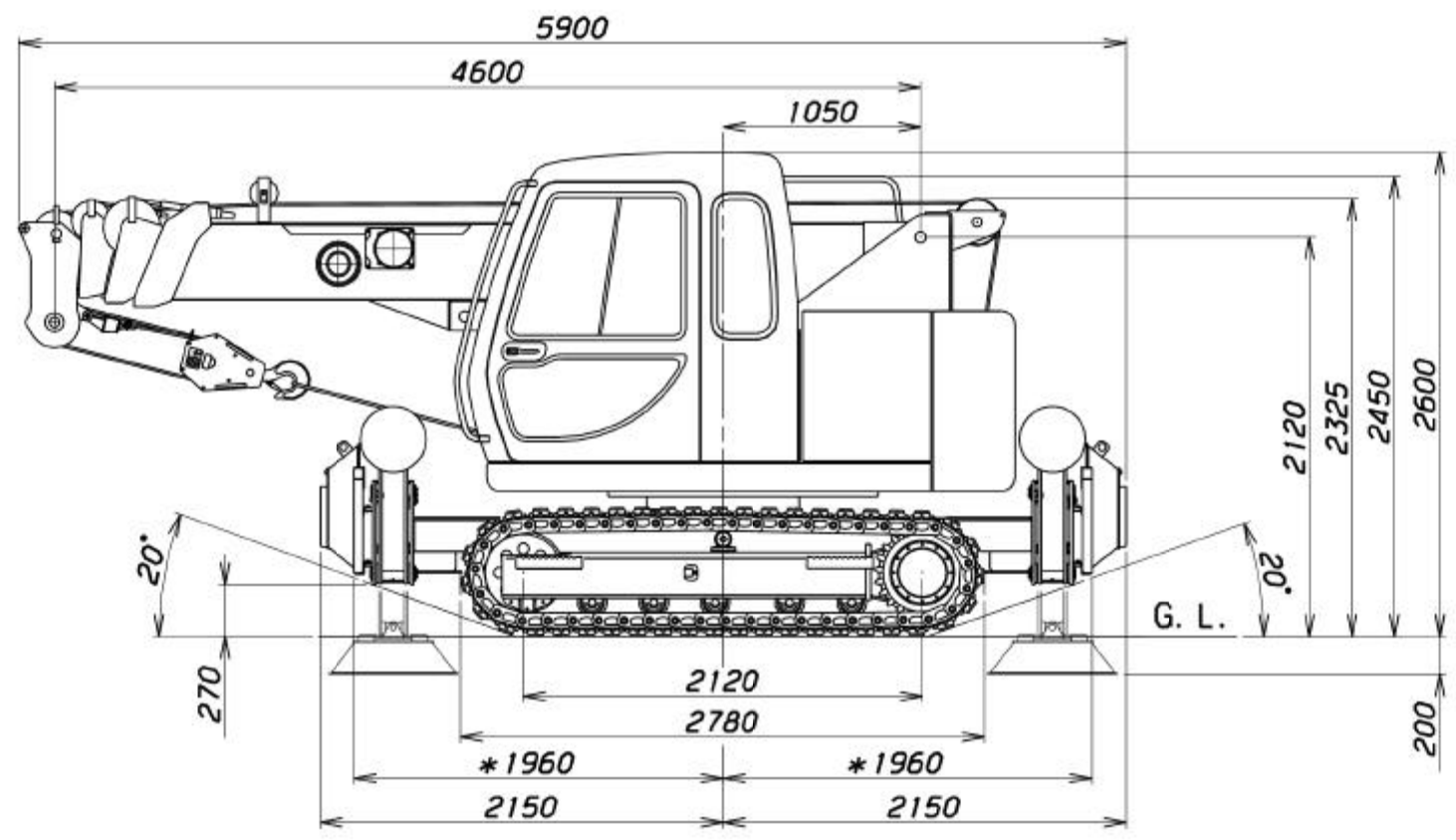
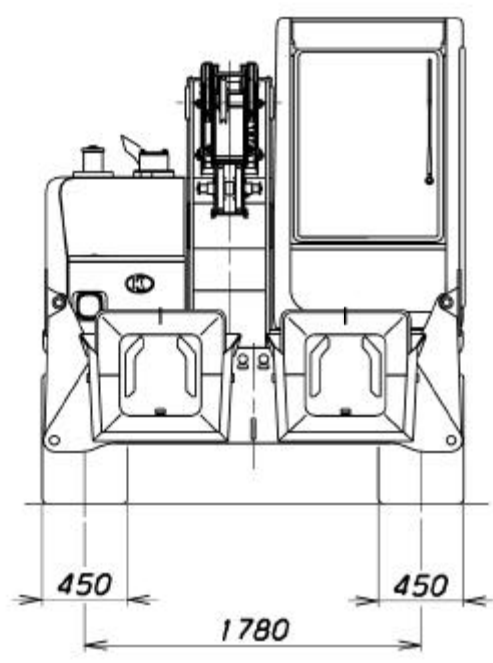
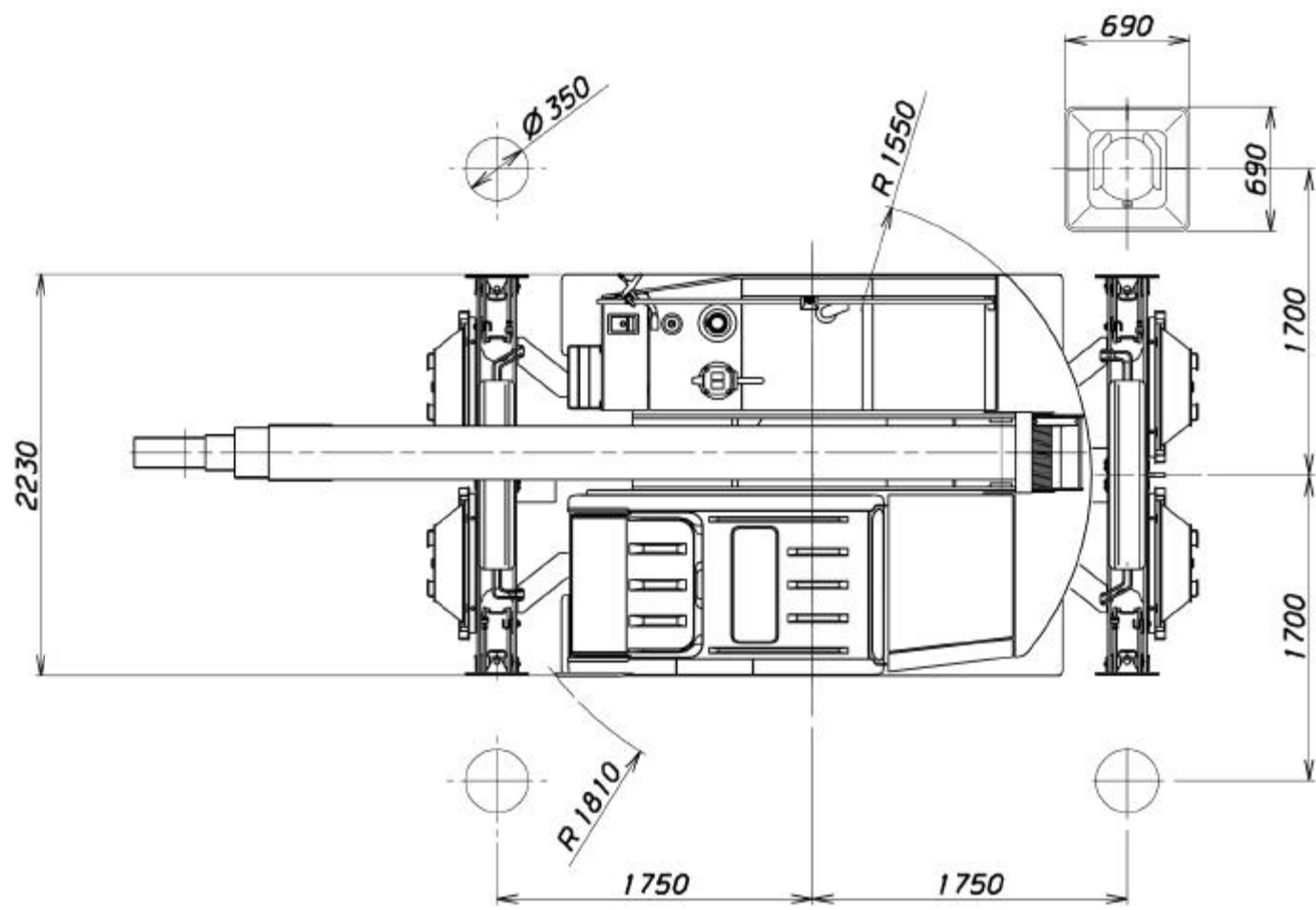
1. 定格総荷重表は、水平堅土上において本機の保証できる最大荷重を示しており、フックその他つり具等の質量を含んだ値です。  部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定度によって定められています。
2. 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. 走行つりのブーム長さ10.6mをこえるブーム作業、ジブ作業は行わないでください。
4. 定置つり作業はパーキングブレーキを効かせた状態で行ってください。
5. 走行つりは走行モード選択スイッチを“低速モード”にして行ってください。
6. 走行つりは荷が振れないように地面近くに保持し、1 km/h 未満にて行ってください。特にコーナリング、急発進、急制動に注意してください。
7. 走行つり中にはクレーン作業は行わないでください。また、旋回ブレーキを必ず掛けてください。
8. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
9. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は下表のとおりです。ただし標準フック以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり19.6kN(2,000kgf)を限度としてください。

ブーム長さ	4.6m ~ <input type="checkbox"/> 10.6m <input type="checkbox"/> 13.6m
巻掛本数	4

を付した値は走行つりを示します。

10. 定格総荷重表は風による影響を含んでいません。瞬間風速が10m/secをこえる場合は作業を中止してください。
11. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。

カトウCR-80C  
クローラテレスコピッククレーン外観図



\*: 着脱式フロート無しを示す。